

2014年6月13日

洪水リスクレポート14-02号

タイ中央部チャオプラヤ水系の洪水リスク情報

はじめに

今月よりタイ中央部における河川氾濫による洪水リスク^注について、関係するダムの水位、気象予報、タイ政府情報およびWEB情報を基に定性評価を行います。

注：2011年タイ洪水型の洪水リスク地域であるタイ中央部に対する資料となります。バンパコン水系およびその他の地域につきましては洪水リスクが高まった際に緊急レポートを発行致します。

洪水リスク：低

タイ全域、特に西部海岸および東部にて降雨量が増加しています。しかし、現在の降雨平均値は洪水を引き起こすまでの量ではなくダム上流では水量をコントロールできている状況です。このような状況から現状の洪水リスクは低いものと考えられます。但し、低気圧により一部の地域で天候が荒れると予測されます。

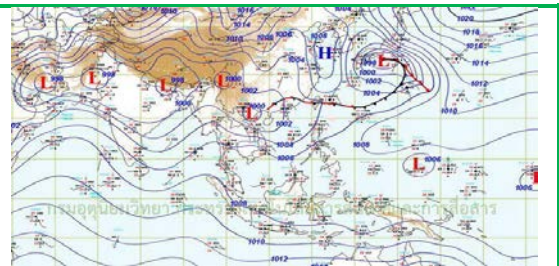
参考情報:

気象

天気予報 (毎週)

6月15日頃までタイ南部に低気圧が停滞するという予報です。この気圧配置により東部海岸および西部海岸の降雨量が増加する可能性があります。Andaman海の波が2-3メートル高くなる可能性があります。ご注意ください。

タイ中央部の降雨確率予測は約60%程度となります。
警報：強風がSamut Prakarnでは最大46 km/hr程度の強風が予測されています。ご注意ください。



(<http://www.metalarm.tmd.go.th/>)

王立灌漑局

各ダムへの流入量が多少多くなっていますが、許容量の50%以下であり問題はないレベルです。これは、今後ダムは季節風による降雨を最大35,000 million m³まで溜めることが出来ることを意味しています。タイ中央部に洪水リスクに大きく影響を及ぼすと考えられる各ダムの水位平均値については次ページをご参照ください。灌漑局は灌漑設備を修繕し、6月15日から11月15日にかけて灌漑使用のための水の放水を始めると予告しています。

(http://water.rid.go.th/news/news_57_035.htm)

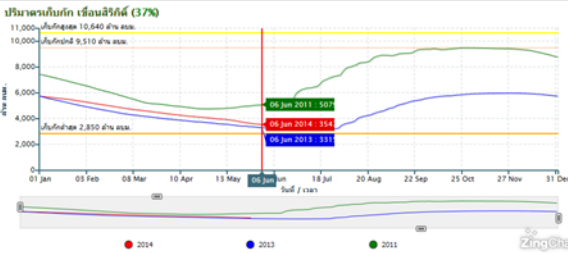
Reference Information

Dam level in comparison from year 2011, 2013

Bhumibol Dam water level 35%



Sirikit Dam water level : 37%

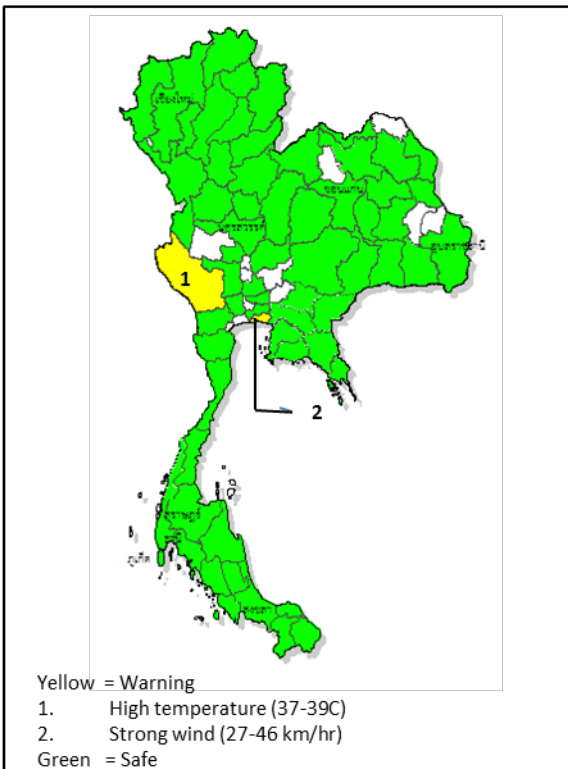


Pasak Dam water level 13%



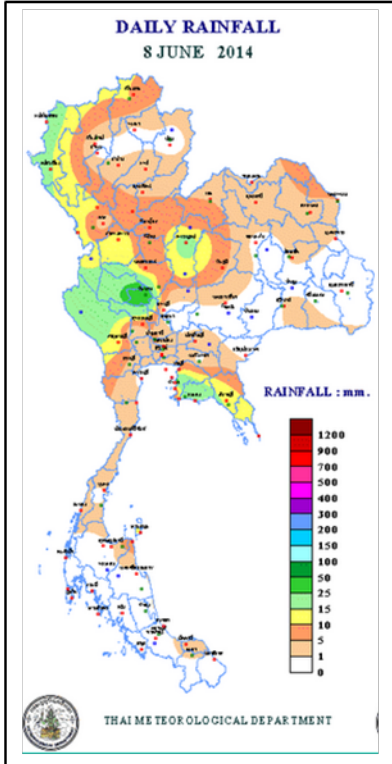
ダムの水量は減少しており、平均値を割り込む水準。また、2011年との比較においても低い水準。

Current flood situation: None



現在洪水が発生している地域はなし

Daily Rainfall



少量ではあるが降雨量は増加している。

Weather forecast

09 มิ.ย. 57 - 15 มิ.ย. 57

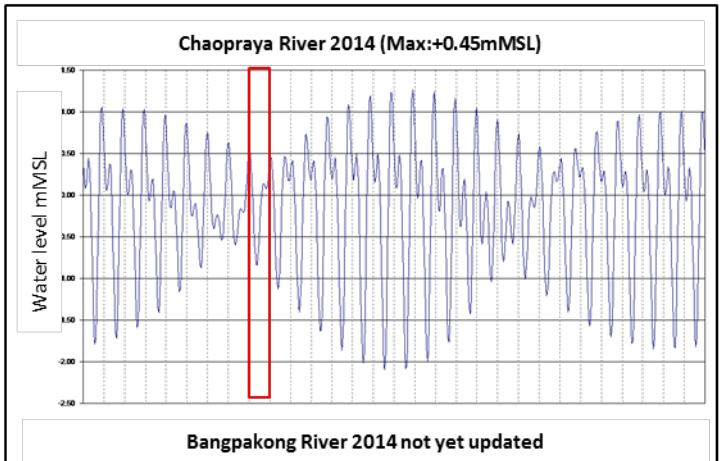
สูงสุดเฉลี่ย 33-35 °C
ต่ำสุดเฉลี่ย 24-26 °C
ฝน 40-60% ของพื้นที่

Jun 16 - Jun 22

Avg Max 32-34 °C
Avg Min 24-26 °C
40-60% Precip. coverage

来週の気温は多少低下すると予測。降雨確率は今週と同レベルと予測。

Water level in comparison to mean sea level

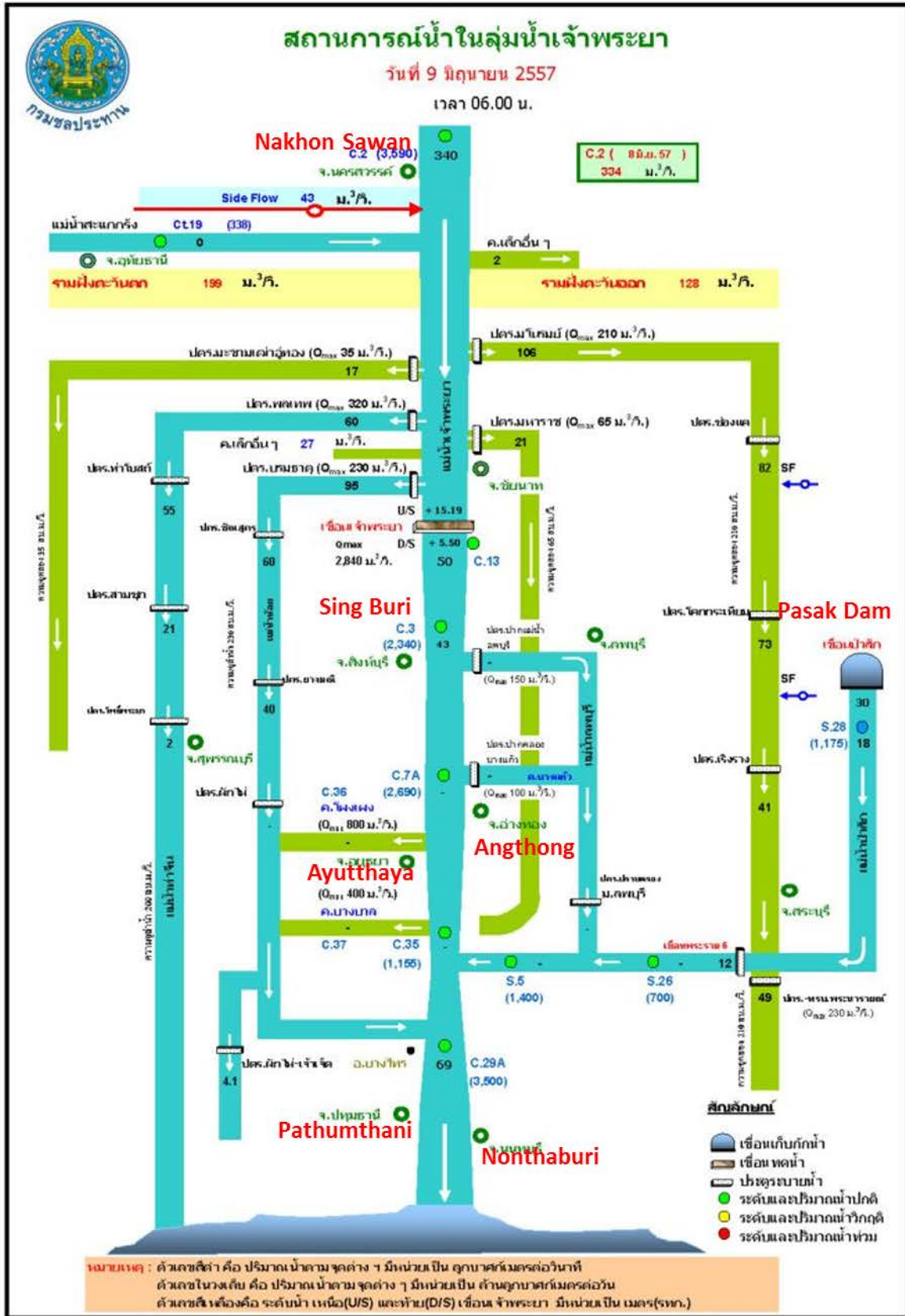


チャオプラヤ川の海拔上昇は+0.5 mMSL以下と推測

Reference

- <http://www.tmd.go.th/>
- <http://www.thaiflood.com/en/>
- <http://www.rid.go.th>
- <http://npmwf.com/onwfindex/databank/datalink.htm>
- <http://wmisc.rid.go.th/>
- <http://flood.gistda.or.th/>
- http://www.thaiwater.net/DATA/REPORT/php/rid_bigcm.php
- <http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/DailyRain.php>
- <http://water.rid.go.th/flood/tide/tide.html>
- <http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/DailyRain.php>

Chaopraya River Flowrate



チャオプラヤ川にて氾濫危険箇所はない (Green dot)

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 ㈱インターリスク総研 総合企画部 国際業務チーム
TEL.03-5296-8920 <http://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 : InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.
175 Sathorn City Tower 9th Floor, South Sathorn Road,
Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand
<http://www.interriskthai.co.th/>
Direct: +66-(0)-2679-5276
Fax: +66-(0)-2679-5278

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製 / Copyright 株式会社インターリスク総研 2014

InterRisk Asia Thailand